

# 地域の医療体制を考える

府市町村保健師協議会北部研修会



府市町村保健師協議会北部研修会は、1月19日（火）、綾部市保健福祉センターで開催され、39名の保健師が集まった。田中副会長による開会挨拶の後、来賓として弓削中丹東保健所長と大槻綾部市保健推進課長が挨拶した。

舞鶴市の小林保健師は「子どものほめ方教室を実施して」、宮津市の綱嶋保健師は「通所型介護予防事業の取り組みについて～はつらつ教室（運動機能向上）～」、南丹市の福山保健師は「南丹市健康プール教室を実施して」と、それぞれのテーマで実践報告を行った。質疑応答が活発になされ、京都大学医学部公衆衛生学教授の中原顧問は講評の中で、中央の健康推進事業縮小への動きもあるが、やはり保健事業は必要であると述べた。



角野文彦滋賀県健康福祉部健康推進課長は「元気の出る保健師活動」と題して講演を行った。保健所の抱える諸問題と将来のあるべき姿を示し、地域で連携のとれた医療体制を整える重要性について説明した。

参加者は研修会を通して積極的に発言や情報収集を行い、今後の活動に役立つ有意義な研修となった。

